

3月 ステップ



2018年3月1日
貝塚市立第一中学校
2年 学年通信

マラソン大会を終えて

クラス表彰

1位 2組 2位 7組 3位 3組

個人成績

	男子	女子
1位	田頭 葵	京極 まどか
2位	中塚 亮晴	榎本 夏紀
3位	谷野 友哉	西出 典加
4位	大淵 玲士	石井 知枝
5位	遠藤 瑞季	矢倉 彩花
6位	金井 功大	山野 彩花
7位	中筋 理貴	岸田 夏希
8位	池内 力輝	乾 寧々花
9位	中村 達也	山田 怜菜
10位	浅井 皇介	西井 さくら



平成29年度 3月行事予定

日・曜日	行事予定	給食	時間割
1 木	学年末テスト	×	保体・国・美
2 金	学年末テスト	×	英・理・音
3 土			
4 日			
5 月		○	月 123456
6 火	生徒議会	○	火 123456
7 水	まなび舎	○	水 1234 月 2 総
8 木		○	金 12345 月 3
9 金		○	木 123456
10 土			
11 日			
12 月	生徒会専門委員会	○	火 123456
13 火	卒業式予行	○	水 1 予行総
14 水	卒業式	×	式
15 木		○	木 123456
16 金	生徒会選挙	○	金 12345 総
17 土			
18 日			
19 月	薬物乱用防止教室(4限)	○	月 4561
20 火		○	水 234 総
21 水	春分の日		
22 木	球技大会	○	球技大会
23 金	修了式	×	式・学

春休みですが、3年生で、良いスタートをきるために、しっかりと1、2年生の復習をしておきましょう。

先月、マラソン大会が行われました。みなさんは、授業でも頑張って走り、その記録を学年の廊下にも掲示されていましたが自分のベストを更新することはできたでしょうか？当日は懸命に走っている姿、その姿を応援する姿が印象的でした。一生懸命頑張ること、頑張ってる誰かを応援することはとても素敵なことだとみんなを見ていて思いました。

☆卒業式

3月14日(水)の卒業式に、2年生も参加します。前日は、2年生も入って予行が行われます。卒業式は、学校最大の行事です。3年生にとっても、3年間の一中生活での最後で最大の行事です。服装や

髪もいつも以上に注意し、きちんと整えて式に参列してください。また、2年生は「そのままの君で」と「友達でいようね」を歌って、3年生を送り出します。時間も限られますが、2年生の素晴らしい合唱を先輩たちに贈るため、しっかり練習して合唱を完成させてください。事前に卒業式のための会場設営をします。2年生が担当になっています。また、前日には、校舎の大掃除もします。送り出す側として、誠意を込めて取り組んで下さい。

○生徒会役員選挙

3月16日(金)の6限に体育館で生徒会役員選挙を行います。新3年生から3名、新2年生から2名選出されます。いよいよ、みなさんが、中心となって学校をつくっていくことになります。行事に一丸となって全力で取り組むといった一中の良い伝統を守りつつ、新しい風も吹きこんでいてもらいたいです。一中をさらに良くしていこうと考えている人は、立候補してください。良くしていこうと思う人が多ければ多いほど、学校の雰囲気は向上していくはずです。また、学校は、生徒会役員の力だけでは、良くなっていきません。周りの人の応援が必要です。体育館に入ってからの集合整列、演説を聞く姿勢などで、新3年生の自覚を見せて、生徒会役員選挙にのぞんでください。

(裏面に続く)

♪平昌五輪を見て思ったこと

先月お隣の国、韓国では平昌オリンピックが開かれていました。羽生選手の連覇、スピードスケートの躍進、カーリング女子の日本選手の明るさなど様々な話題で日本中が盛り上がりましたね。さまざまな話題の中でも、私が注目したのはスキーエアリアル代表の田原直哉選手のことでした。(※スキーエアリアル…長さ 160cm 程度のスキー板をはいて空中に飛び上がり、宙返りをして着地するまでの短い競技)

田原選手はもともと体操選手でした。有名な体操選手として国際大会の代表にもなったほどでした。体操選手の当時近くで演技を見たことがあります。ダイナミックな演技が特徴の素晴らしい選手でした。しかし、そんな彼もオリンピックの代表選手には選ばれませんでした。「オリンピックに出場するという夢」をあきらめきれなかった彼は「冬季オリンピックの代表選手になる」という夢に切り替えます。スキーで宙に舞い、宙返りを行うスキーエアリアル。本人も体操と似ているからいけるのではないかと考えたようです。ところが、現実には厳しかった。来る日も来る日もスキーを滑る練習ばかり。宙返りと言ってもスキーをはいた状態と裸足とでは感覚が違う。過酷な練習が続いたそうです。そして競技を続けるための厳しい生活。アルバイトをし、貯金を切り崩しながら練習し、試合に出場し続けたそうです。試合後のインタビューで「スキーに関係ない売れるものはすべて売った」とも語っていました。それでも10年のバンクーバーオリンピック、14年のソチオリンピックに出場することはかないませんでした。しかし、昨年3月のワールドカップで7位に食い込み、全日本スキー連盟が定める派遣基準を突破。エアリアルの日本勢では3大会ぶりとなる五輪出場の権利を手にとると、今年1月、五輪直前のワールドカップでは3位に食い込み、「競技転向12年目で、今が一番調子がいい」と自信をもって平昌に臨むことができました。

しかし結果は予選落ち。決勝の舞台、メダルには届きませんでした。でも、田原選手の競技への姿勢から学ぶことは多いと思います。田原選手はこう言っています「やり続けることがいいことだとは思わないけど、本気で競技を続け、諦めなければ何か形にはなると思う」。

さて、みなさんの夢はどんな夢でしょう。夢に向かっているときに、自分にとっての限界や壁を感じることもあるでしょう。でも「諦めなければ形になる」という「形」は田原選手や、夢を追うみなさん自身にしか見えないものではないでしょうか。中学校生活もあと1年と少し。自分自身の「夢」を見つめる時間も大切にしてほしいと田原選手を見て思います。